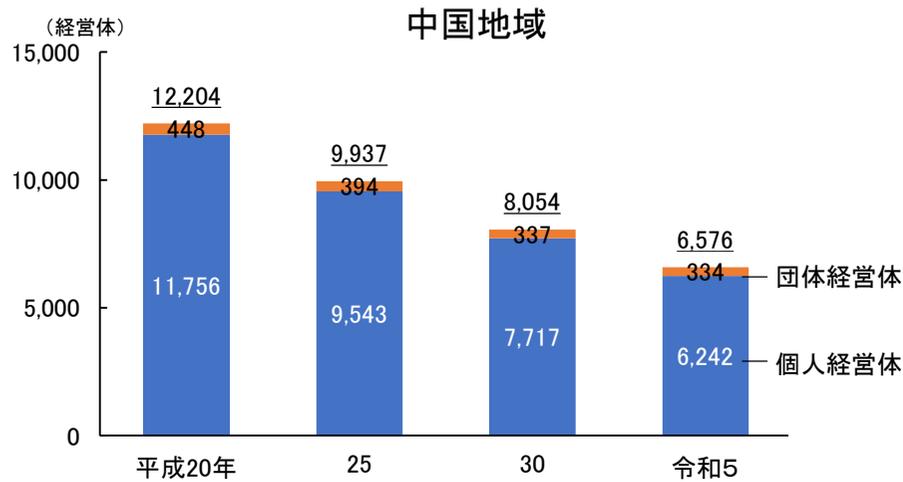


海面漁業経営体数及び漁業就業者数

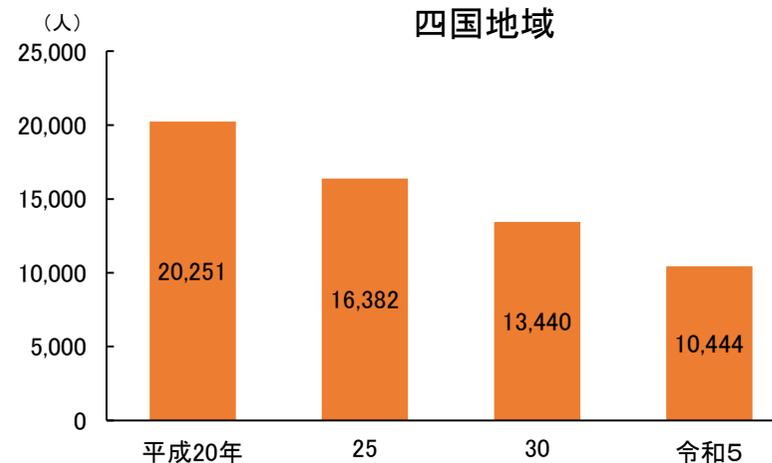
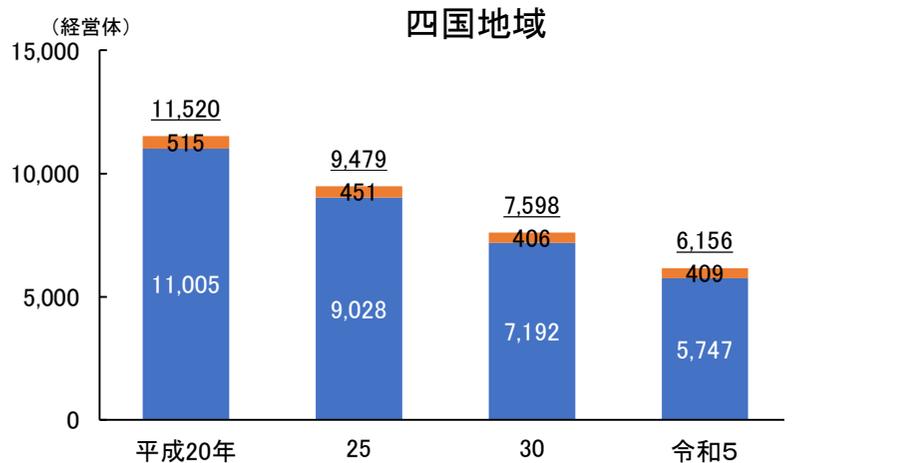
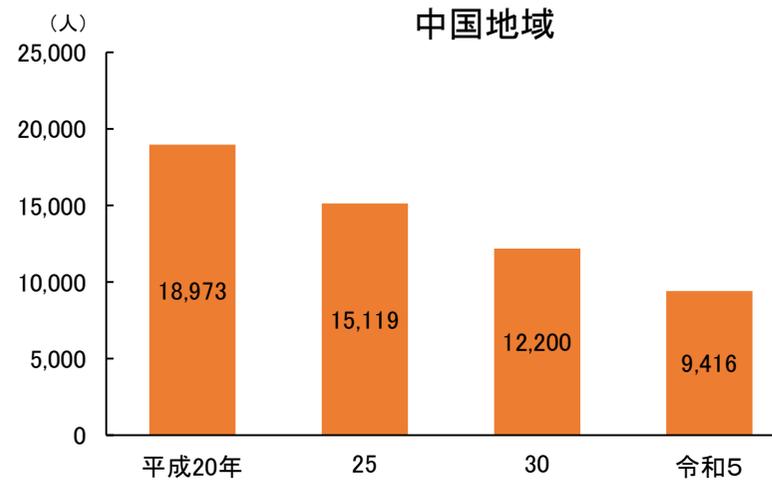
令和5年における海面漁業経営体数は、中国地域が6,576経営体、四国地域が6,156経営体で、15年前（平成20年）に比べ、46.1%、46.6%それぞれ減少しています。

漁業就業者数は、中国地域が9,416人、四国地域が1万444人で、15年前（平成20年）に比べ、50.4%、48.4%それぞれ減少しています。

海面漁業経営体数の推移



漁業就業者数の推移

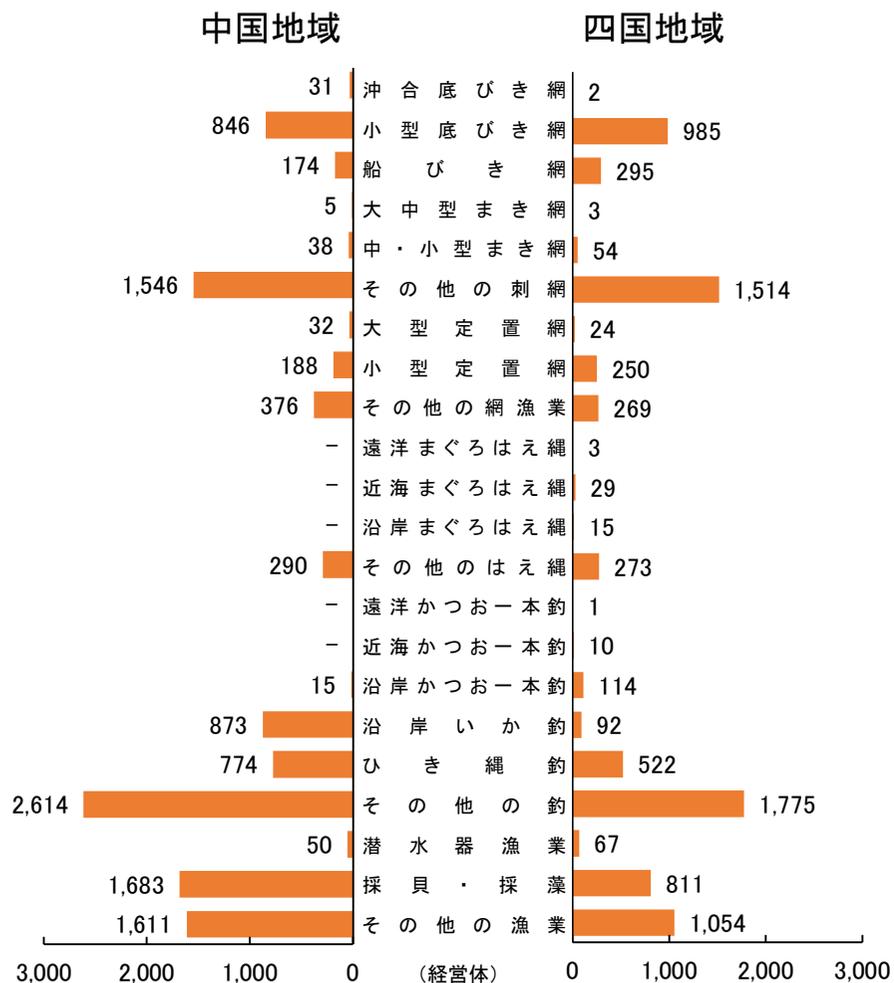


F 水産業編

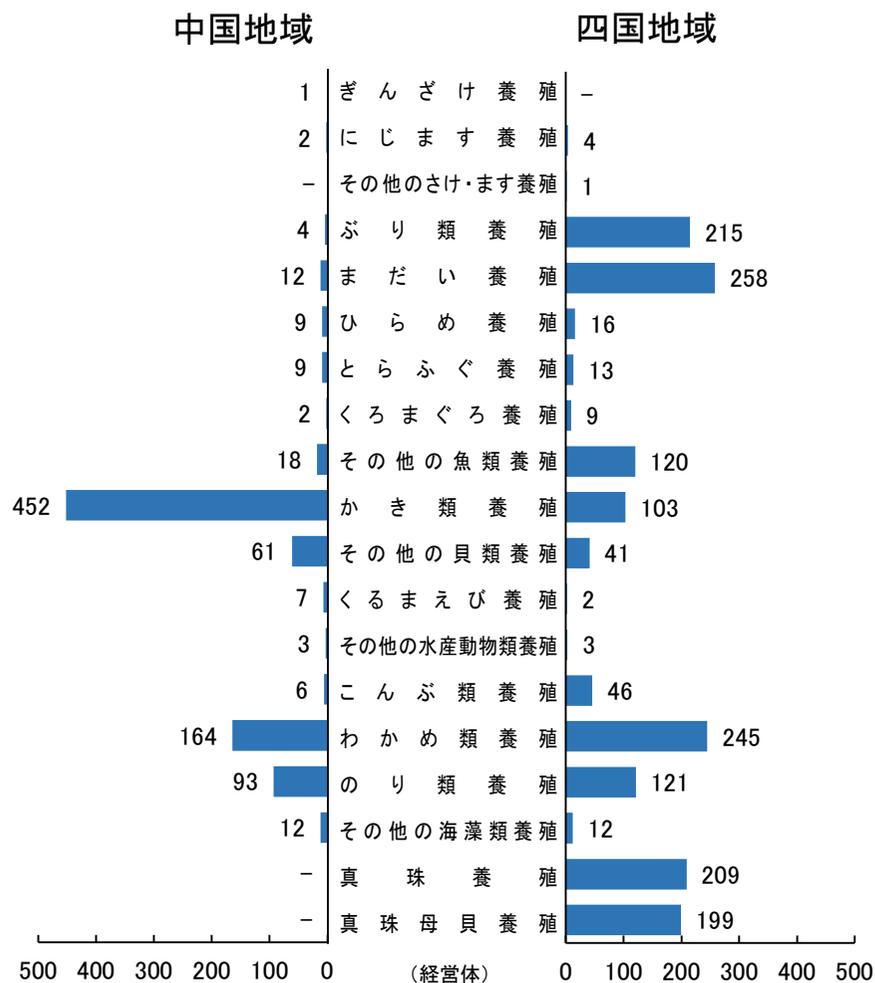
海面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

令和5年における海面漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、中国地域では「その他の釣」（2,614経営体）が最も多く、次いで「採貝・採藻」、
「その他の漁業」の順、四国地域では「その他の釣」（1,775経営体）が最も多く、次いで「その他の刺網」、「その他の漁業」の順となっています。
営んだ養殖種類別にみると、中国地域では「かき類養殖」（452経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「のり類養殖」の順、四国地域では
「まだい養殖」（258経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「ぶり類養殖」の順となっています。

営んだ漁業種類別経営体数(複数回答)



営んだ養殖種類別経営体数(複数回答)



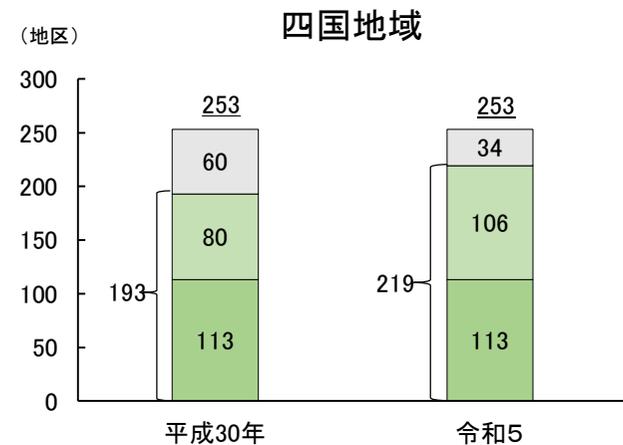
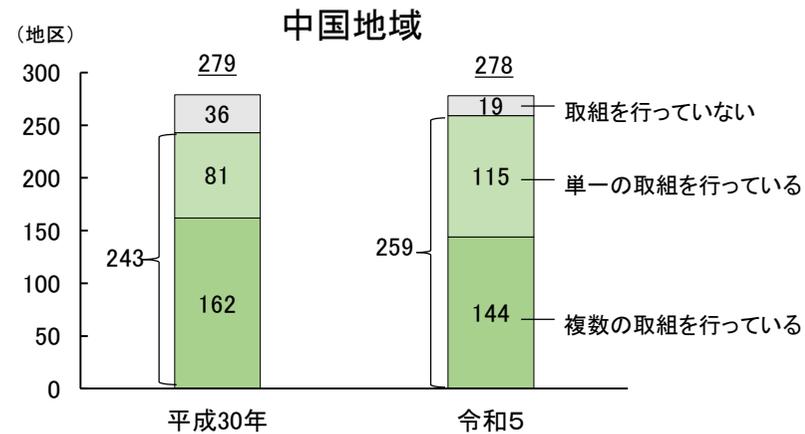
F 水産業編

資源管理・漁場改善の取組（海面漁業）

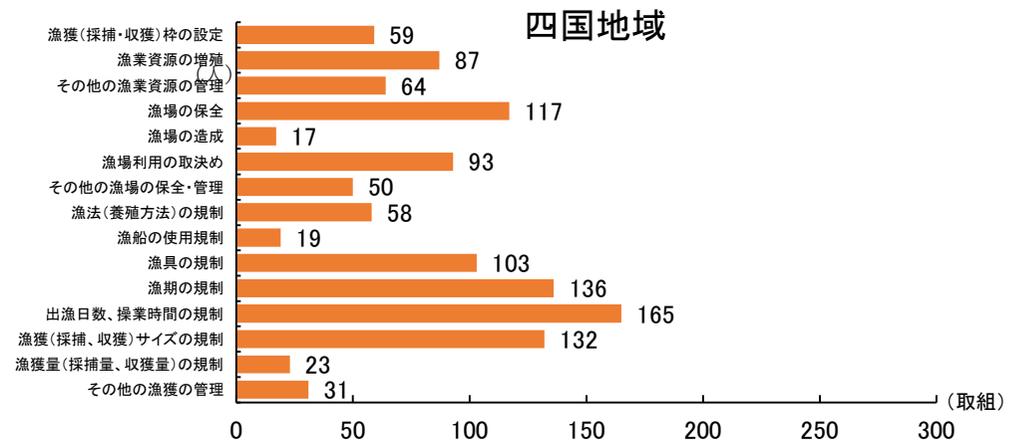
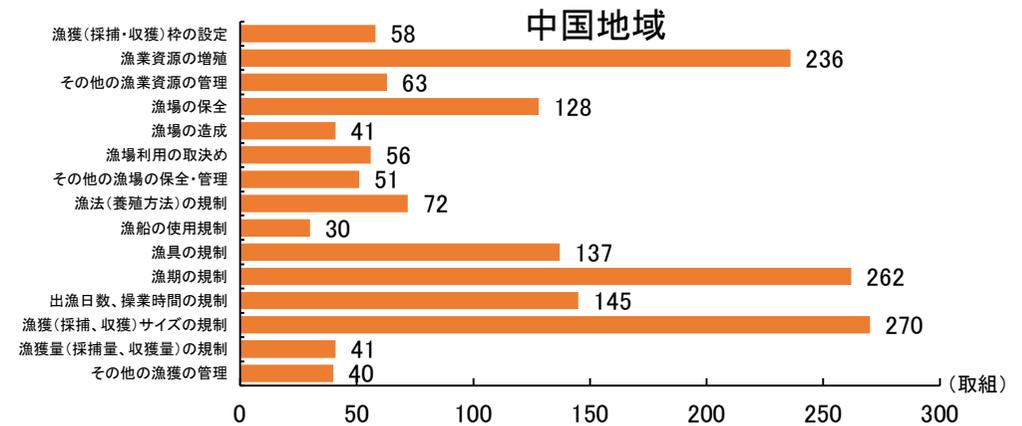
令和5年における漁業地区（中国地域：278地区、四国地域：253地区）のうち、漁業協同組合が関係する資源管理や漁場改善を目的とした取組を行っている漁業地区は、中国地域が259地区、四国地域が219地区で、5年前（平成30年）に比べ、6.6%、13.5%それぞれ増加しています。

同取組を管理内容別にみると、中国地域では「漁獲（採捕、収穫）サイズの規制」（270取組）が最も多く、四国地域では「出漁日数、操業時間の規制」（165取組）が最も多くなっています。

資源管理・漁場改善の取組の有無別地区数の推移



資源管理・漁場改善の管理内容別取組数（複数回答）



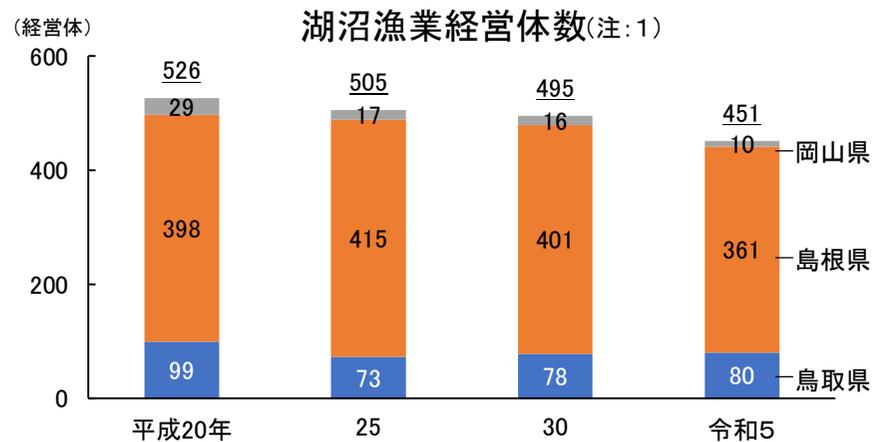
資料：農林水産省「漁業センサス」

内水面漁業経営体数及び従事者数

令和5年における湖沼漁業（注：1参照）経営体数は451経営体で、15年前（平成20年）に比べ、14.3%減少しています。湖沼漁業の湖上作業従事者数は554人で、15年前（平成20年）に比べ、26.0%減少しています。

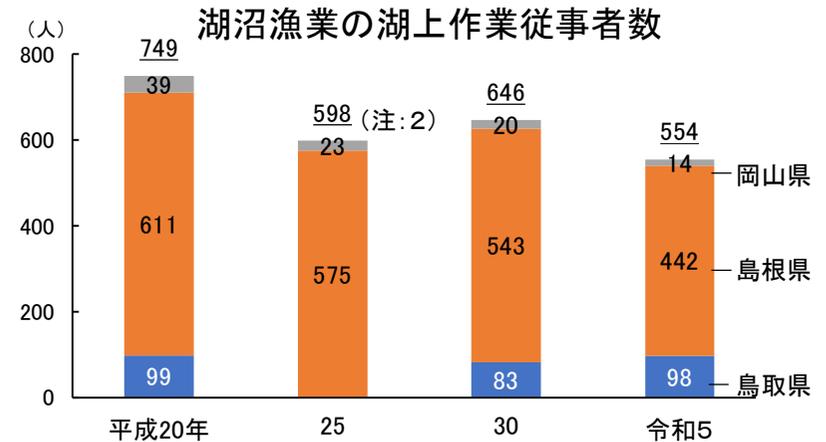
内水面養殖業経営体数は333経営体で、15年前（平成20年）に比べ、47.6%減少しています。内水面養殖業従事者数は1,264人で、15年前（平成20年）に比べ、39.8%減少しています。

湖沼漁業及び内水面養殖業経営体数の推移

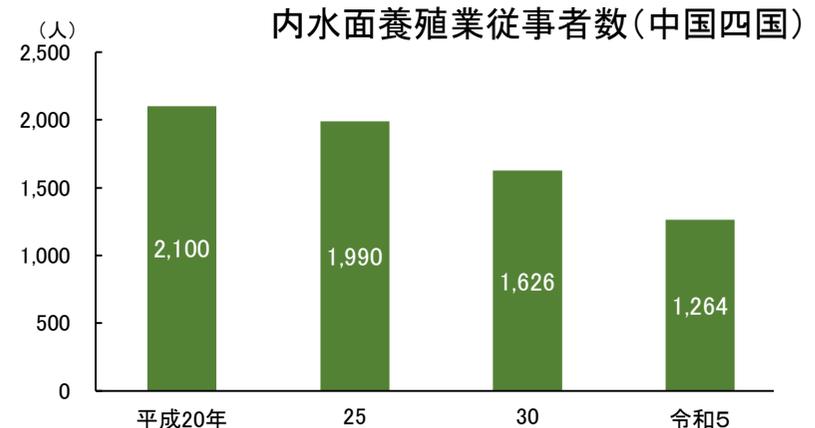
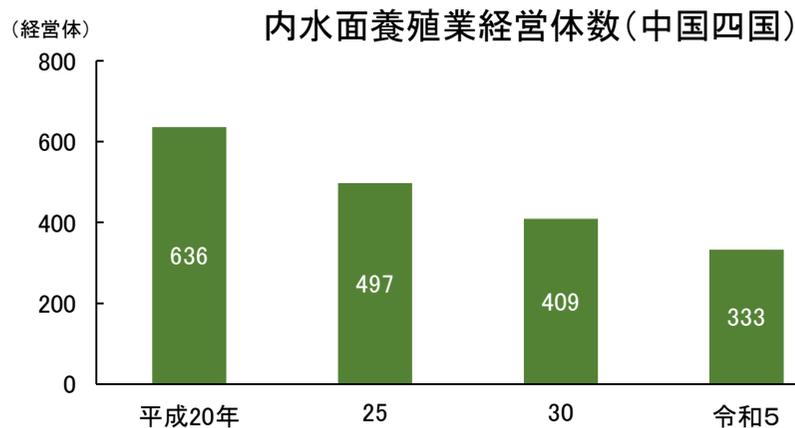


注：1 中国四国地域の湖沼漁業の調査対象は、鳥取県（湖山池、東郷池）・島根県（宍道湖、神西湖）・岡山県（児島湖）の5湖沼です。

湖上作業及び内水面養殖業従事者数の推移



注：2 平成25年は、鳥取県の値が秘匿されているため、島根県と岡山県の合計値です。



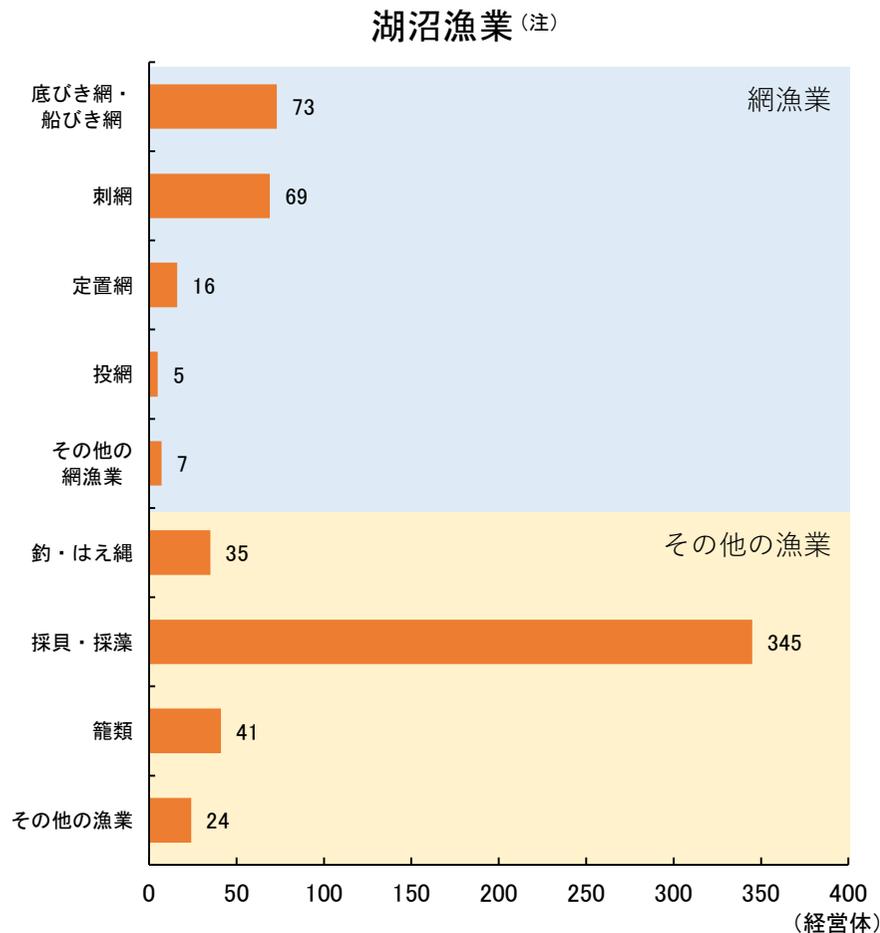
F 水産業編

内水面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

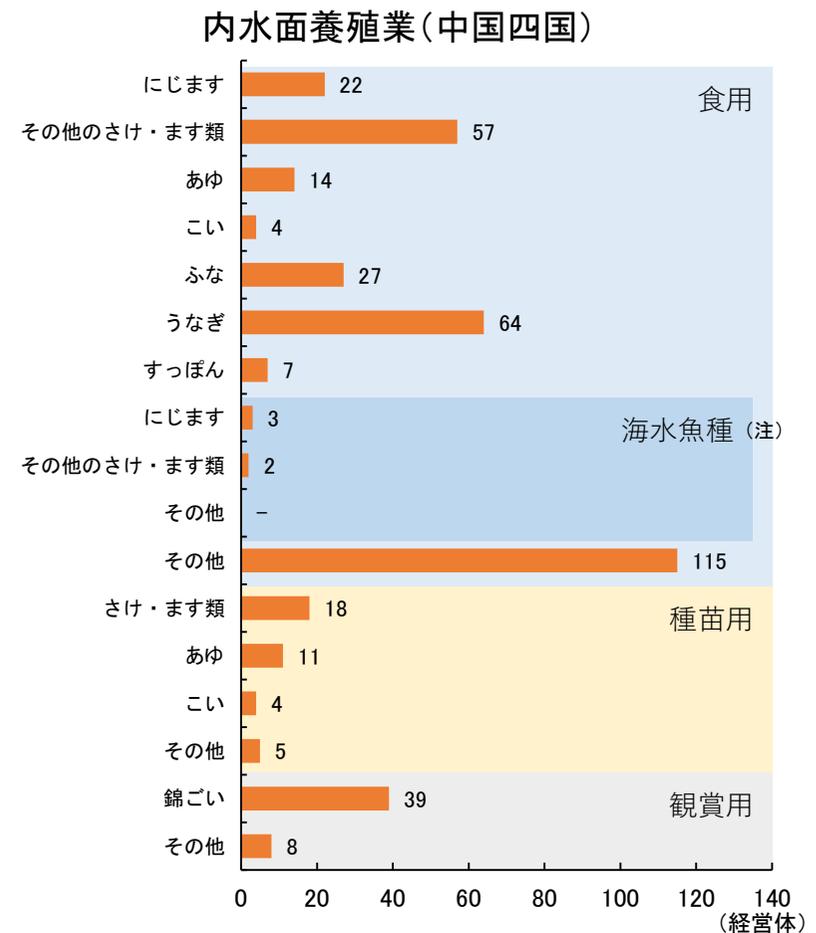
令和5年における湖沼漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、「採貝・採藻」（345経営体）が最も多く、次いで「底びき網・船びき網」、「刺網」の順となっています。

内水面養殖業経営体を営んだ養殖種類別にみると、食用の「その他」（115経営体）が最も多く、次いで「うなぎ」、「その他のさけ・ます類」、観賞用の「錦ごい」の順となっています。

湖沼漁業経営体数(営んだ漁業種類別)(複数回答)



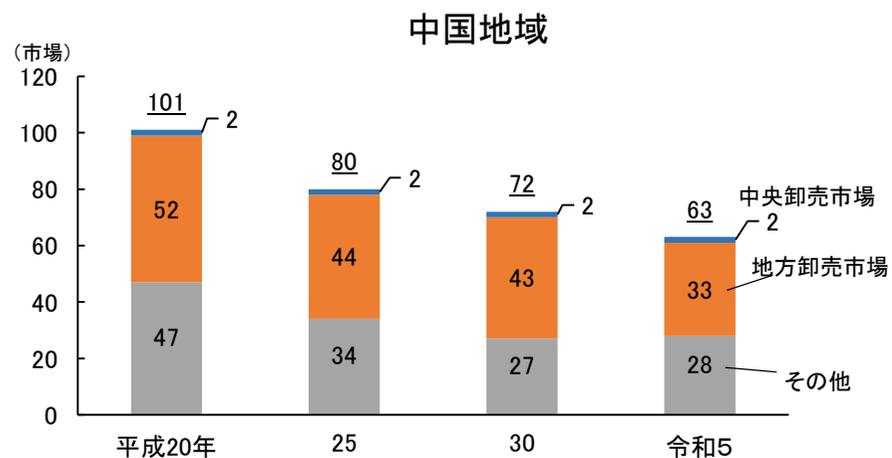
内水面養殖業経営体数(営んだ養殖種類別)(複数回答)



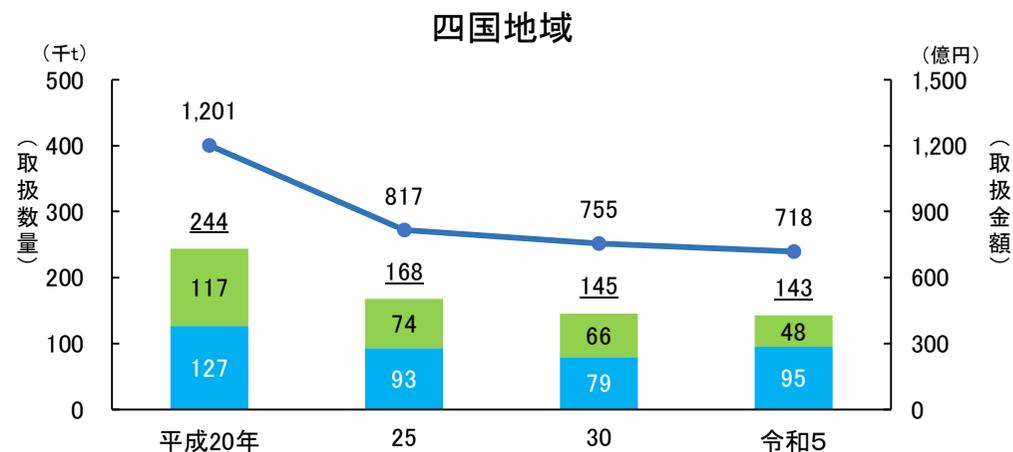
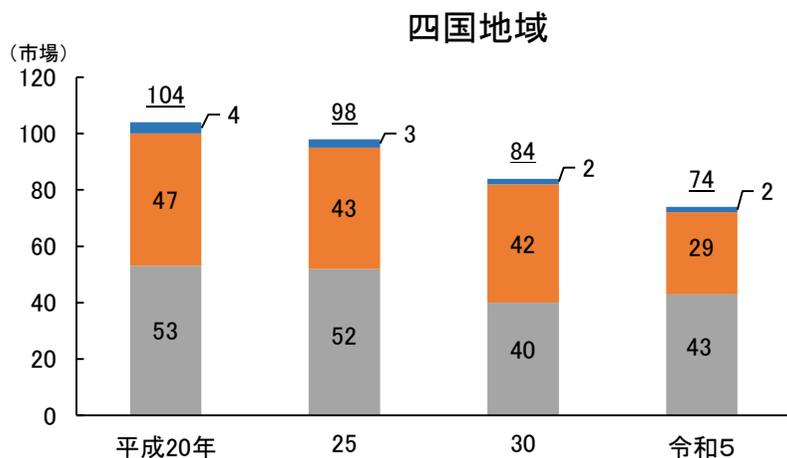
魚市場数及び年間取扱高

令和5年における魚市場数は、中国地域が63市場、四国地域が74市場で、15年前（平成20年）に比べ、37.6%、28.8%それぞれ減少しています。
 年間取扱高は、中国地域の取扱数量は24万6千t、取扱金額は1,426億円、四国地域の取扱数量は14万3千t、取扱金額は718億円となっており、それぞれ減少傾向で推移しています。

魚市場数の推移



年間取扱高の推移

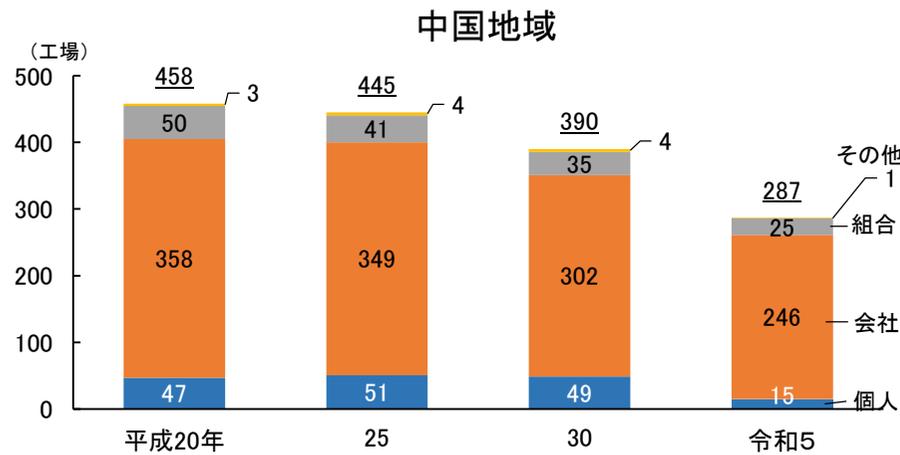


冷凍・冷蔵工場数及び従業者数

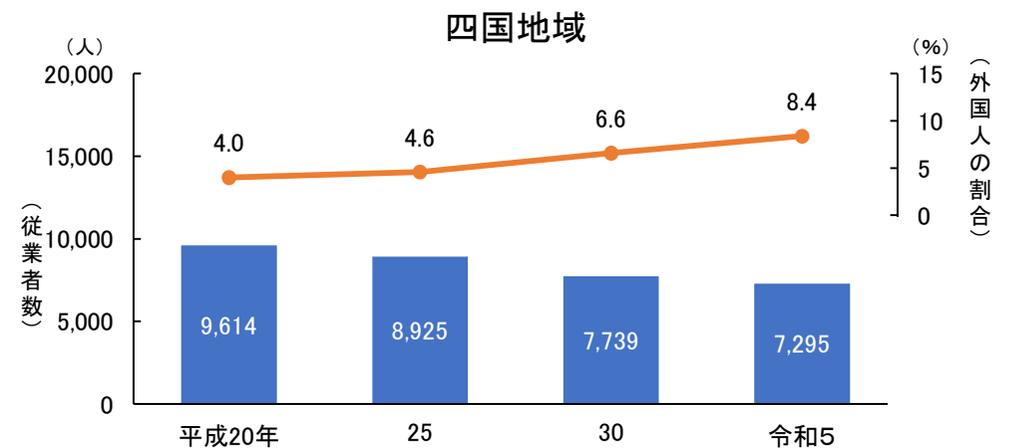
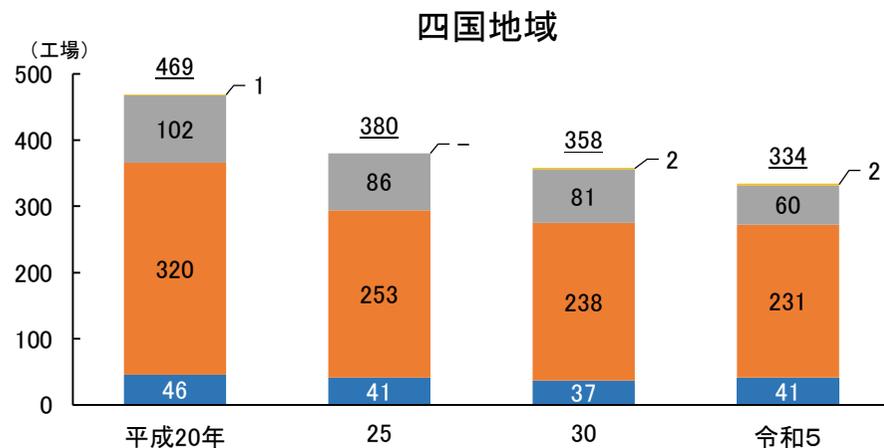
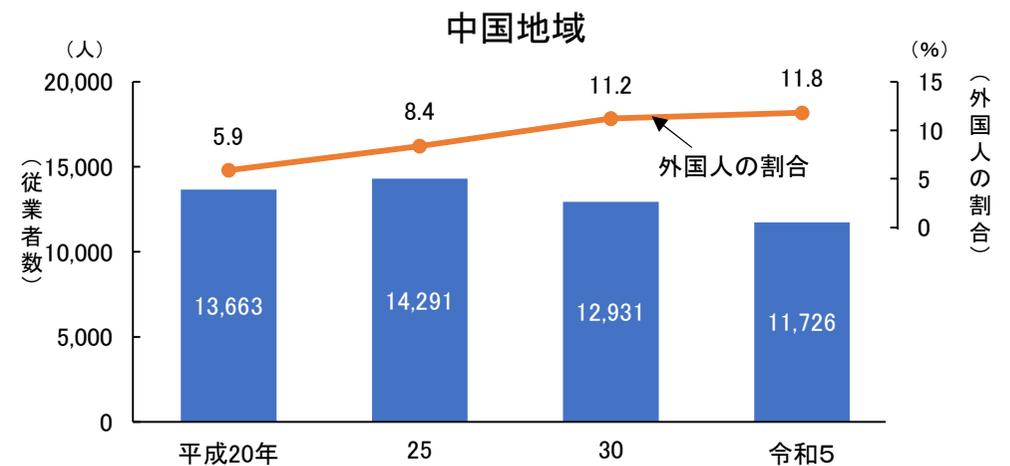
令和5年における冷凍・冷蔵工場数は、中国地域が287工場、四国地域が334工場、15年前（平成20年）に比べ、37.3%、28.8%それぞれ減少しています。

従業者数は、中国地域が1万1,726人、四国地域が7,295人で、15年前（平成20年）に比べ、14.2%、24.1%それぞれ減少しています。従業者のうち外国人の割合は、中国地域が11.8%、四国地域が8.4%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

冷凍・冷蔵工場数の推移



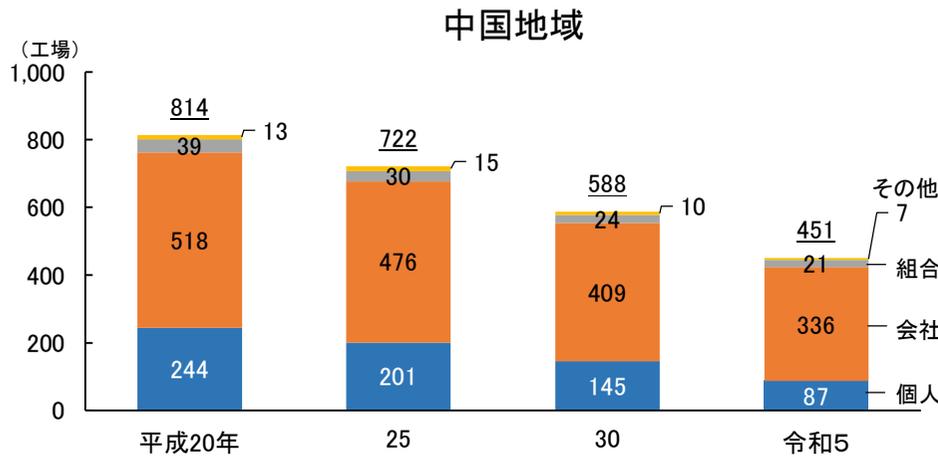
冷凍・冷蔵工場従業者数の推移



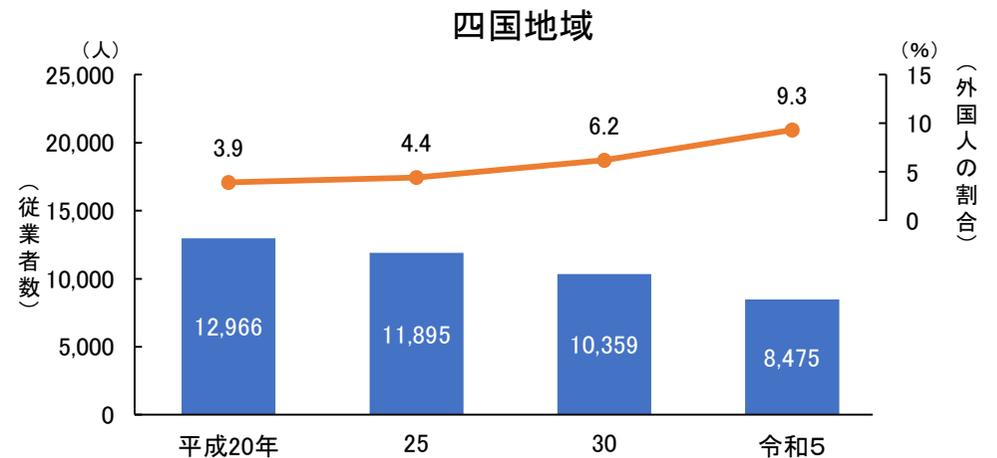
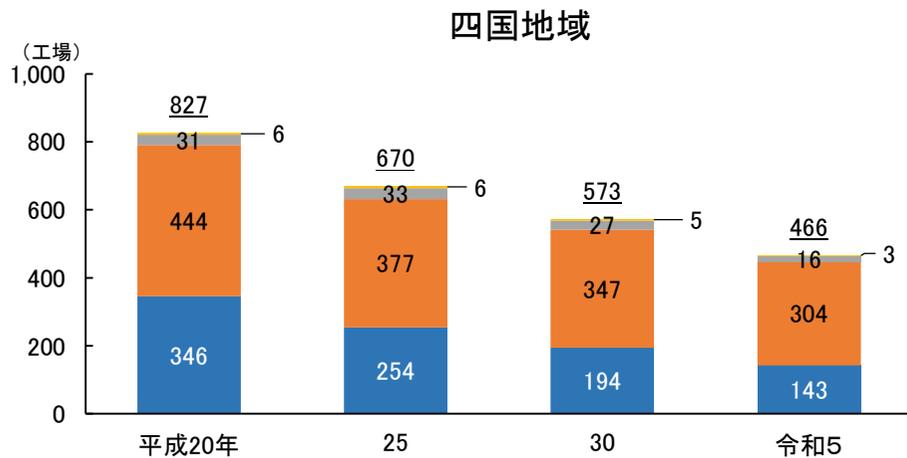
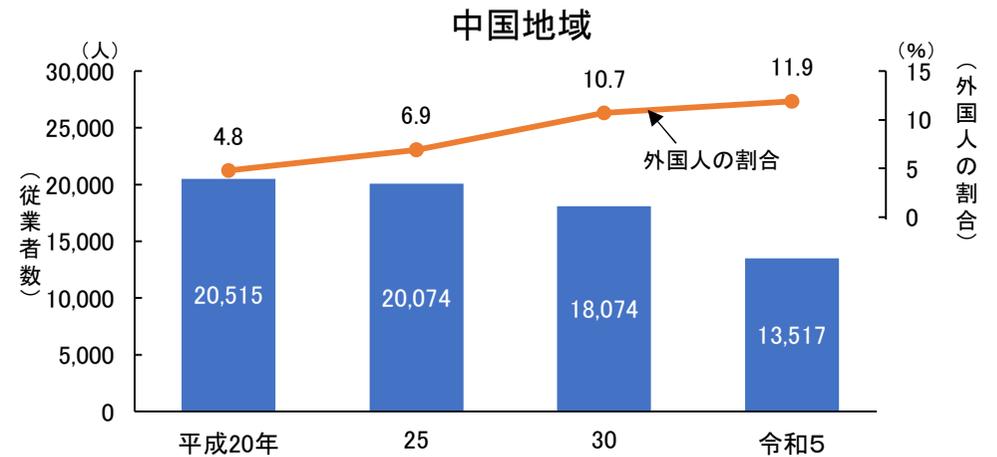
水産加工場数及び従業者数

令和5年における水産加工場数は、中国地域が451工場、四国地域が466工場、15年前（平成20年）に比べ、44.6%、43.7%それぞれ減少しています。従業者数は、中国地域が1万3,517人、四国地域が8,475人で、15年前（平成20年）に比べ、34.1%、34.6%それぞれ減少しています。従業者数のうち外国人の割合は、中国地域が11.9%、四国地域が9.3%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

水産加工場数の推移



水産加工場従業者数の推移

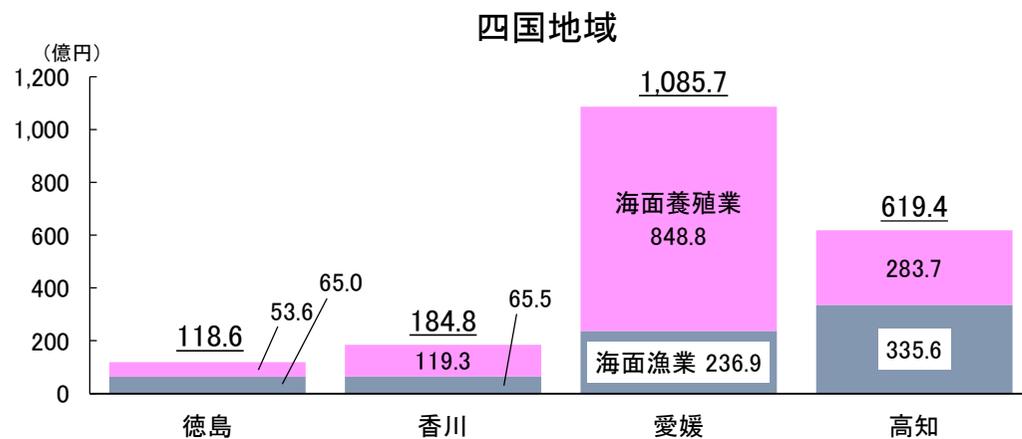
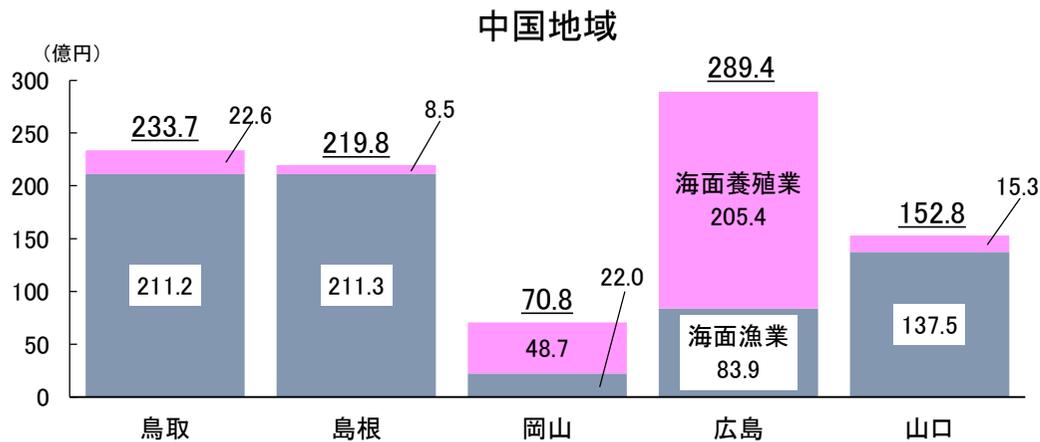


資料：農林水産省「漁業センサス」

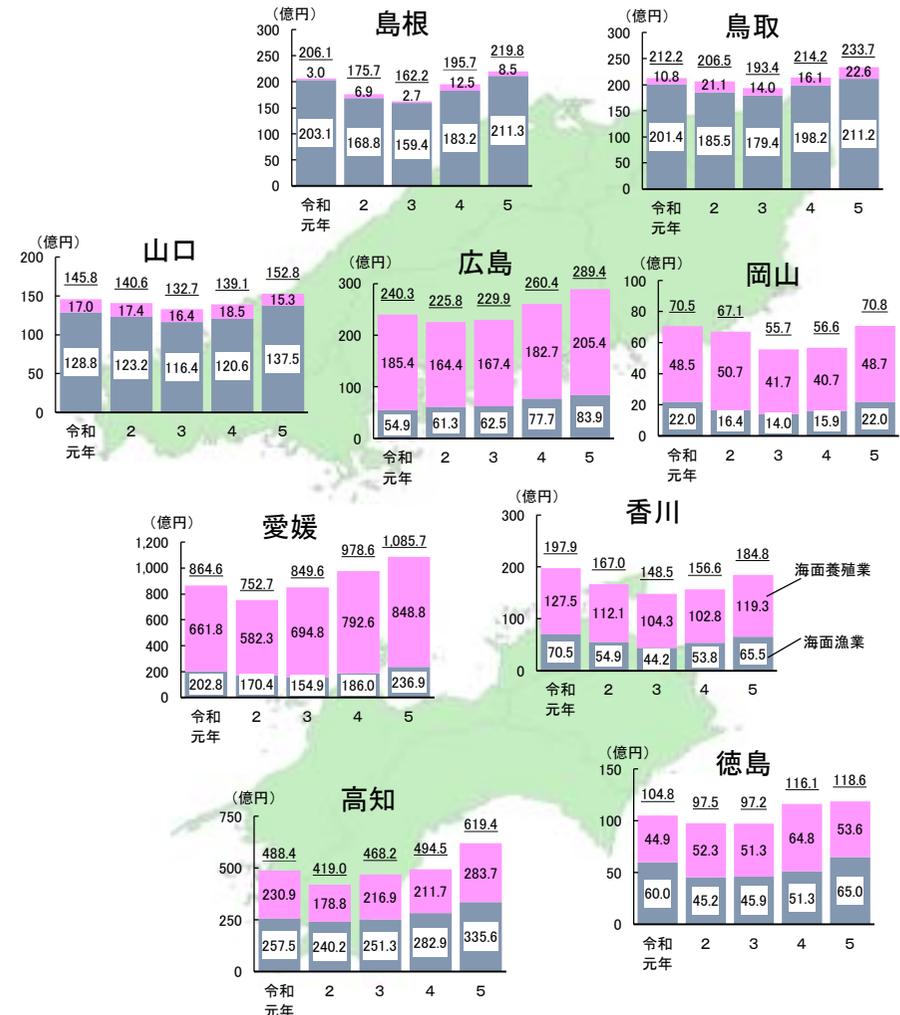
漁業産出額（海面漁業・海面養殖業）

漁業産出額は、中国地域では広島県、四国地域では愛媛県が高く、ともに海面養殖業が盛んです。
中国四国各県の漁業産出額の推移をみると、全般に令和2年・3年頃は減少していましたが、その後は増加傾向で推移しています。

各県の漁業産出額(令和5年)



各県の漁業産出額の推移



F 水産業編

漁業生産量（海面漁業・海面養殖業）

中国地域の漁業生産量は、鳥取県、島根県では「まいわし」、岡山県、広島県では「かき類(養)」、山口県では「かたくちいわし」が多くなっています。四国地域の漁業生産量は、徳島県では「わかめ類(養)」、香川県では「かたくちいわし」、愛媛県では「まだい(養)」、高知県では「かつお」が多くなっています。

各県の主要魚種における漁業生産量(令和5年)

島根県		生産量: 102,795 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	まいわし	36,912 t	7位
2	さば類	20,146 t	3位
3	うるめいわし	13,741 t	2位
4	まあじ	11,298 t	2位
5	ぶり類	6,059 t	4位
6	べにずわいがに	2,509 t	1位
7	かれい類	1,422 t	4位
8	きだい	815 t	2位
9	さわら類	693 t	4位
10	まだい	485 t	8位

鳥取県		生産量: 102,302 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	まいわし	60,550 t	3位
2	さば類	10,550 t	9位
3	かつお	8,893 t	10位
4	まあじ	2,616 t	8位
5	かれい類	2,583 t	2位
6	べにずわいがに	2,190 t	2位
7	きはだ	2,145 t	11位
8	うるめいわし	2,116 t	9位
9	ぶり類	1,825 t	13位
10	むろあじ類	1,104 t	6位

愛媛県		生産量: 136,571 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	まだい(養)	37,893 t	1位
2	まいわし	14,874 t	11位
3	ぶり(養)	13,855 t	2位
4	さば類	12,990 t	7位
5	かたくちいわし	12,222 t	4位
6	うるめいわし	7,817 t	4位
7	ぶり類	3,748 t	7位
8	まあじ	2,837 t	5位
9	しまあじ(養)	2,524 t	1位
10	かんばち(養)	2,389 t	2位
※	真珠(養)	3,673 kg	2位

香川県		生産量: 29,361 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	かたくちいわし	8,580 t	6位
2	くろのり(養)	8,448 t	6位
3	ぶり(養)	4,579 t	7位
4	かんばち(養)	1,461 t	4位
5	かき類(養)	794 t	11位
6	まだい	644 t	6位
7	しらす	570 t	17位
8	いかなご	452 t	2位
9	まだい(養)	344 t	11位
10	さわら類	319 t	10位

山口県		生産量: 24,912 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	かたくちいわし	4,622 t	9位
2	まいわし	2,901 t	18位
3	さば類	2,295 t	20位
4	まあじ	1,909 t	11位
5	ぶり類	1,667 t	15位
6	まだい	657 t	5位
7	きだい	646 t	3位
8	なまこ類	578 t	3位
9	かれい類	521 t	11位
10	さわら類	482 t	7位

広島県		生産量: 111,088 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	かき類(養)	89,192 t	1位
2	かたくちいわし	14,810 t	2位
3	くろのり(養)	2,629 t	11位
4	しらす	1,441 t	10位
5	まだい	437 t	11位
6	ぶり類	184 t	31位
7	たこ類	150 t	16位
8	わかめ類(養)	146 t	10位
9	くろだい	119 t	6位
10	すずき類	83 t	20位

岡山県		生産量: 19,804 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	かき類(養)	11,557 t	3位
2	くろのり(養)	4,983 t	8位
3	しらす	991 t	12位
4	まだい	385 t	13位
5	くろだい	180 t	4位
6	たこ類	118 t	19位
7	いかなご	116 t	4位
8	なまこ類	76 t	17位
9	ばらのり(養)	75 t	9位
10	かれい類	60 t	28位

高知県		生産量: 79,738 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	かつお	16,699 t	3位
2	ぶり(養)	8,652 t	6位
3	まだい(養)	7,775 t	3位
4	びんなが	7,378 t	2位
5	そうだがつお類	4,476 t	1位
6	うるめいわし	3,728 t	5位
7	めばち	3,526 t	3位
8	きはだ	3,510 t	6位
9	さば類	3,072 t	18位
10	まあじ	2,358 t	9位

徳島県		生産量: 17,850 t	
魚種	生産量	全国順位	
1	わかめ類(養)	3,713 t	3位
2	ぶり(養)	3,298 t	9位
3	しらす	2,881 t	6位
4	くろのり(養)	740 t	13位
5	さめ類	663 t	8位
6	かつお	660 t	17位
7	ぶり類	655 t	25位
8	びんなが	468 t	14位
9	かたくちいわし	409 t	17位
10	かんばち(養)	344 t	7位

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

注：（養）は海面養殖業による生産量であることを表しています。